



留学生レポート特集！

各国の年末年始の過ごし方③

くるみさんのPortugalレポート

12月はこの18年間で一番濃い12月となりましたので少しお話しします！まず、楽しかった事と嬉しかった事を...

一番嬉しかったのは自分のポルトガル語力がアップしているという事が感じられるようになってきた事です！今までの3ヶ月はほぼ家族や友達の会話が聞き取れない+自分の言いたい事が英語でしか言えないというようになりかなりもどかしかったのですが、今はゆっくり話してくれたらなんとなく理解できますし自分の中の語彙も少しずつ増えてきてレポートリーがかなり増えました(-;)向陽にいた時も英語は耐えたぶんだけ伸びると言われてきましたが、やっぱり言語ってそういうものだとは強く感じます。3ヶ月間何も成長が感じられなくて辛かったあの日々を乗り越えてよかったと今は思います！けれどまだまだひよっこレベルなのでこれからも頑張ります！！

他にもたくさん嬉しい事がありましたがりあえずこれだけにしておきます(^o^)

では次に苦しかった事、辛かった事を...



一番辛かった事が「食に対する見解の相違」です。私は日本で18年間育てられて「好き嫌いが無い事、食べ物を粗末にせず全て残さず食べる事」は良い事であり食べ物を残す事は失礼な事だと思い生きてきました。

けれどポルトガルでは「これ私嫌いだからいらない」と言う事は良い事らしいです。私がホストや友達に「嫌いな食べ物はありますか？ポルトガルの食べ物はほぼ好きです」と言ってもあまり良い顔をされないのですずっと考えていましたがおそらく自分の意見が無い、もしくは意思が弱い人間だと思われるのではないかと思います。こちらのファミリーにお世話になって毎日野菜食べる事が少ないので無性に野菜が食べたくなって野菜スープを作ってもホストシスターに「これ私嫌い、もういらない」と言われて一人でこっそり泣きました(笑)けれどその次の食事の時間でホストマザーにその話をされて食事中に号泣してしまったことも今思えば良い経験です。

とりあえず、、食べ物の恨みは怖いですよ(笑)

もう一つだけ暗い話になりますが辛かったことを話させてください。



前のマンスリレポートとの内容と少しかぶるかもしれませんがはたまた中国関連のお話です。

ポルトガルは昔マカオ植民地としていた時代がありましたので一部ですがポルトガルのお年寄りにはアジア人を下に見る人がいます。いくら「私は日本人だ」と言っても「日本は中国と近いから同じだろ」と言われきつ～ってなります(笑)愚痴ではありませんがこの前ホストシスターの祖父の家で昼食後にコーヒーをみんなで飲んでいたら、私が砂糖を入れずに飲んでいたら祖父が「あの子は中国人だから砂糖いらないでしょ？」とホストマザーに言ってるのを聞いてしまって、いろいろ理解できなくて辛かったです(笑)私がポルトガル語何も理解できないと思って好き勝手言う若い人も結構いますが、私が反応するとちゃんと謝ってくれるのでまだ偏見はそこまで酷くないのかなと(´ω´)

色々なカルチャーショックに4ヶ月以上経った今でも悩まされてたまに無性に実家に帰りたくなりますが私の尊敬する人類学者のレヴィ=ストロース(倫理の先生に聞いてください)の思想を思い出しながら乗り越えています！！

長くなりましたが、

21期もセンター試験本当にお疲れ様でした！22、23期はこれから先の先輩達の行く末を応援してください(^o^)

それではまた来月！Tchau!